

大会名称: 平成28年度
第69回四国高等学校バスケットボール選手権大会

開催場所: 愛媛県総合運動公園体育館 Aコート

試合区分: No. 15 男子 決勝

期 日: 2016(H28)年6月19日(日)

主審: 薦田侑二郎

開始時間: 13:30

副審: 仲地 祥吾

終了時間: 15:00

<p>尽誠学園</p> <p>(香川1位)</p>	<p>○</p> <p>64</p>	<p>16 - 13</p> <p>13 - 13</p> <p>12 - 20</p> <p>23 - 12</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>●</p> <p>58</p>	<p>松山工業</p> <p>(愛媛1位)</p>
----------------------------------	---------------------------	--	---------------------------	----------------------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	松本 雅樹	6	0	3	0	4	8	4
5		大竹 一雅	-	-	-	-	-	-	-
6		前山 英之	-	-	-	-	-	-	-
7	*	中本 龍	21	5	0	6	4	5	2
8	*	古谷 太一	13	1	4	2	4	9	1
9	*	植原 州哉	10	2	2	0	1	7	2
10	*	高岡圭汰朗	2	0	1	0	1	4	0
11		常清 哲也	-	-	-	-	-	-	-
12		平田 主尚	-	-	-	-	-	-	-
13		大庭 椋	-	-	-	-	-	-	-
14		齋木祥太郎	-	-	-	-	-	-	-
15		上田 隼輔	12	0	6	0	1	6	0
16		林 優人	-	-	-	-	-	-	-
17		長友 翼	-	-	-	-	-	-	-
18		山田 志朗	-	-	-	-	-	-	-
HC		色摩 拓也 / TEAM	-	-	-	-	-	-	-
		合計	64	8	16	8	15	39	9

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	權藤 史也	5	0	2	1	4	3	1
5	*	東浦 元樹	12	2	2	2	1	6	6
6		早瀬 陽介	5	1	1	0	4	1	1
7	*	宮本 尋	13	1	5	0	3	3	1
8	*	萩野 一洋	11	0	4	3	0	9	0
9	*	佐伯 祐輔	12	3	1	1	1	3	0
10		亀岡 拓矢	-	-	-	-	-	-	-
11		松尾 優夢	-	-	-	-	-	-	-
12		菊池 雄太	-	-	-	-	-	-	-
13		仙波 洋人	-	-	-	-	-	-	-
14		高橋 聖太	-	-	-	-	-	-	-
15		正岡 広暉	-	-	-	-	-	-	-
16		池内 亮太	-	-	-	-	-	-	-
17		曾我部鈴汰	-	-	-	-	-	-	-
18		青木龍之介	-	-	-	-	-	-	-
HC		宮崎 智之 / TEAM	-	-	-	-	-	-	-
		合計	58	7	15	7	13	25	9

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、松山工業はオールコートマンツーマンディフェンス、尽誠学園はハーフコートマンツーマンディフェンスでスタートする。両チーム激しいディフェンスを繰り広げ、お互いにシュートがなかなか決まらない中、5分が経過したところで松山工業が1回目のタイムアウトを請求する。その後、松山工業は#7を中心に攻撃、尽誠学園は落ち着いたパス回しからシュートを狙い続け、13-16で尽誠学園3点リードで終了する。

第2ピリオド、松山工業は激しいディフェンスからボールを奪い、速いパス回しから#9、#6の連続得点で一時逆転する。一進一退の攻防が続く中、尽誠学園も#15、#7を中心に果敢に攻撃し、相手に主導権を与えず26-29で尽誠学園3点リードで終了する。

第3ピリオド、開始早々、松山工業#9の3Pが決まり、同点となる。対する尽誠学園は相手のオールコートの激しいディフェンスを崩しきれず4分間ノーゴールの時間帯が続くが、中盤から#7、#9の3Pで反撃する。松山工業も、#5、#8を中心に粘り強く攻め続け、46-41で松山工業5点リードで最終ピリオドへ。

第4ピリオド、尽誠学園は相手のディフェンスに臆することなく果敢に攻め続け、#7、#8の連続得点で、残り6分に逆転に成功する。松山工業はタイムアウトを請求し、逆転を目指し、さらに激しいディフェンスから#5、#8を中心に猛攻を仕掛けるが尽誠学園は、最後まで声を掛け合い、チーム一丸となって守り続ける。その後、最終盤の勝負所でのシュートを確実に決めた尽誠学園が58-64で、3年連続6回目の優勝を果たした。試合終了後には、選手たちに会場内から惜しみない拍手が送られた好ゲームであった。

担当者: 松浦 正(愛媛県高体連)

四国高等学校体育連盟・愛媛県教育委員会・四国バスケットボール協会

